

令和7年度（論理国語）シラバス

教 科	国語	科 目	論理国語		
単 位 数	2	学 年	2	類 型	文理共通
教 科 書	論理国語（大修館書店）				
学習目標	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付け、論理的・批判的、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自己の考えを深める。言語がもつ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				

授業計画

	学習内容	学習のねらい
1 学期	- 世界、言葉、私 - 芸術と文化 - 共同体のいま - 科学の可能性	- 文章の種類をふまえ、内容や構成、論理の展開を的確にとらえ、論点を明確にしながら用紙を把握できるようにする。 - 筆者の主張と根拠の関係を理解した上で、論の展開を正しくとらえることができるようにする。
2 学期	- 日本語の多様性 - 思考の枠組み	- 本文において主張にあたる情報とそれを裏付ける情報とを明確に区別できるようにする。 - 論証し、学術的な学習のために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにし、認識や思考と言葉のとの関係を理解できるようにする。 - 人間、自然、社会について文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけ、新たな論点から自分の考えを深めるようにする。
3 学期	- 社会の原点 - グローバル化の先へ	- 関連する文章や資料をもとに、書き手の立場や目的を考えながら内容の解釈を深めるようにする。 - 情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解が深められるようにする。

評価の観点及び内容、評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、意味内容について認識や思考を深めている。	- 定期考査 - 確認テスト
思考・判断・表現	「読むこと」において文章の種類をふまえ、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。	- 定期考査 - 確認テスト - 発表内容等
主体的に学習に取り組む態度	学習課題に沿って、具体例や比喻表現等に注意しながら、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	- 授業に取り組む態度 - 授業における発言 - ノートや課題等における記述 - 自己評価